

10月
新講座

ルー・アイランド(青島広志)氏の音楽の楽しみ方

～大作曲家の代表作と歌曲（大は小を兼ねるか）～



☆ 講師 作曲家 青島 広志

☆ 開講日 月1回月曜日 15:30～17:00

☆ 受講料 6ヵ月分 18,000円+税

1回のみ受講は1回分 3,200円+税 ※入会金別途必要

*1回分の受付は、2回目以降分の授業が対象となります。

*1回分の受付申込は受講希望の授業日の前月の1日からとなります。

(例)5月の講座を申し込む場合は、4月1日からの受付となります。

1人の大作曲家の代表的な作品である大作(主に管弦楽曲)とそれにまつわる小品(主に歌曲)を各1曲取り上げ、その関係を考察します。青島広志の解説者としての面が強く現れます。小野勉は名助手を務めます。歌う場面もあります。10月から始まる6ヵ月講座です。※1回だけの受講も可能です。

平成29年10月～平成30年3月 カリキュラム

※10月30日	運命とタタタ、親愛なるメルツェル(ベートーヴェン) ベートーヴェンは何と言っても交響曲が代表作、そして中でもとりわけ有名な「運命」は冒頭のリズムで有名です。それと輪唱との関係は？
11月13日	最後のピアノ協奏曲と春への憧れ(モーツァルト) モーツァルトは自分の曲を引用することが時々ありました。それは手抜きなのか、それとも深い意味があったのかを考えます。
11月27日	ピアノ5重奏曲と鱒(シューベルト) 引用の名手は何と言ってもシューベルト。とくに同時期に書いていた歌曲を室内楽に取り込みます。その華麗なる変化をお楽しみください。
1月22日	アルルの女とアニユス・ディ(ビゼー) 主にオペラ作曲家だったビゼーは、それ以外の作品は比較的知られていません。その理由を考え、宗教曲に転用された劇の伴奏音楽を紹介。
2月5日	レクイエムとお人形(フォーレ) フランスの教育者として重要なフォーレには2つの顔があります。崇高な宗教家としての面と、家庭人であろうとした面を探ります。
3月5日	新世界と家路(ドヴォルザーク) 国民楽派の中で最も重要なチェコの作曲家、その哀愁に満ちた旋律は、詞をあてはめて愛唱されています！

※10月30日は文化センター休講日ですが、授業を行います。

講師 青島 広志

1955年東京生まれ。東京芸術大学大学院修士課程を首席で修了。作曲から指揮、ピアノの演奏、執筆、放送、教育まで幅広く活躍。TV(題名の無い音楽会、世界で一番受けたい授業、たけしの誰でもピカソ)に出演。東京芸術大学講師。オペラ『火の鳥』、管弦楽曲『イソップ動物記』、合唱曲『マザー・グースの歌』ほか作品多数。少女マンガ研究者としても活動中。

ゲスト 小野 勉 テノール

東京オペラプロデュース公演『黄金の国』でオペラデビューの後、東京室内歌劇場公演に多数出演。2001年第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位入賞。童謡からオペリアリアまで幅広いレパートリーを持ち、細やかな表現力には定評がある。青島広志氏プロデュースの舞台にも出演。名古屋フィルハーモニー交響楽団をはじめオーケストラとの共演も多い。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。



名古屋・楽 中日文化センター

Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-53-8164

10:00～19:00
日曜日は17:00まで

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F